



四條畷市、初の教育フェス「なわて教育フェスティバル 2026」を開催！ 多彩なプログラムで「生きる力」を体験

概要説明

四條畷市では、それぞれの個性を持つ子どもが夢を持ち、挑戦を重ね、自らの人生を切り拓く「生きる力」を育む教育を推進しています。

この度、次世代を担う子どもたちの「生きる力」を育む本市の教育の取組を広く発信する「なわて教育フェスティバル 2026」を、令和8年8月8日(土)に四條畷西中学校で初めて開催します。

本イベントは、学校・地域・企業が一体となり、未来の教育を楽しく体験できる場であり、大阪夕陽丘学園理事長兼高等学校校長の日野田直彦氏を招いた基調講演をはじめ、最先端の生成 AI 体験や、市長が登壇するパネルディスカッションなど、子どもから大人までが教育の未来を考える1日とします。

1.開催概要

日時：令和8年8月8日(土) 午前11時～午後3時30分

場所：四條畷西中学校 体育館

対象：市内外の児童・生徒、保護者、教育関係者ほか

2.主なプログラム

□基調講演「2050年を生き抜くためのミライの授業」

講師：日野田 直彦氏 (大阪夕陽丘学園理事長兼高等学校校長)

□ワークショップ

- ・生成 AI を活用した画像の生成体験
- ・未来の公共交通を学ぶ体験
- ・電動キックボード体験

□パネルディスカッション「世界をめざす心を育むために」

銭谷翔市長が登壇し、自身の子どもの時代や世界で活躍した経験などを語ります。

□公民連携ブース

公民連携による教育・地域づくりの取組を紹介

□飲食ブース

小・中学校の給食で人気のカレーライスを販売 (1食 500円)



日野田 直彦（ひのだ なおひこ）氏

1977 年大阪府生まれ。幼少期をタイで過ごし、帰国後は欧米の最先端の教育に取り組む同志社国際で揉まれたアジアと欧米の教育を知るハイブリッド帰国子女。大学卒業後、進学塾、私立中高の新規立ち上げ、公立・私立の校長とほぼあらゆる教育現場を経験。36 歳（当時最年少）で校長になった大阪府立箕面高校では、地域の 4 番手の「普通」の学校の生徒が海外大学に多数進学し、注目を集める。

武蔵野大学中学・高等学校では、定員割れ、予備校が出す偏差値が「判定不能」、9 年で 5 人も校長が交代する倒産寸前の状態から V 字回復し、学校説明会には毎年のべ 1 万人以上もの親子が参加するまでに。

教育実践者（現役校長）として全国各地の講演会やワークショップで人気を博している。

問い合わせ

電話 072-877-2121 〈代〉

青少年育成課 担当：神本（内線 9038）、担当：安田（内線 281）